

市川市公園施設長寿命化計画



令和7年12月

市川市 街づくり部 公園緑地課

目 次

1.公園施設長寿命化計画の概要	1
1-1 計画の目的	1
1-2 長寿命化計画の対象公園および計画期間	1
1-3 長寿命化計画策定のフロー	3
2.予備調査	4
2-1 計画対象施設の整理	4
2-2 管理類型	4
3.健全度・緊急度判定	7
3-1 健全度判定	7
3-2 緊急度判定	7
3-3 健全度・緊急度判定結果	9
4.長寿命化計画の検討	11
4-1 公園施設長寿命化計画のための基本方針の設定	11
4-2 ライフサイクルコストの検討	12
5.長寿命化計画の策定	17
5-1 管理類型の区分	17
5-2 平準化における優先順位の考え方	18
5-3 年次計画の設定	19

1.公園施設長寿命化計画の概要

1-1 計画の目的

本計画は、2ha以上の公園を対象として過年度に実施した「公園施設長寿命化計画策定調査業務委託（以下、過年度計画）」の見直し、及び2ha以下の老朽化した公園内遊戯施設に対して、子供をはじめ、誰もが安全で安心して公園が利用できるよう、計画的な修繕、改築、更新を行うため、令和7年3月に国土交通省から出された「公園施設長寿命化計画策定指針（案）【改定版】（以下、H30指針(案)）」に基づき、公園ごとに公園施設長寿命化計画を策定することを目的とするものです。

○市川市公園施設長寿命化計画の改定内容

計画年度	対象公園	計画期間	指針
過年度計画 2018(H30) 年度	2ha以上の公園 9公園	2020(R2)~ 2029(R11)年度	公園施設長寿命化計画策定指針(案)【改定版】 平成30年10月」に準拠
本計画 2024(R6) 年度	大規模な施設や 老朽化した施設 の多い公園・緑地 52公園		

図 1-1 過年度計画と本計画の内容

1-2 長寿命化計画の対象公園および計画期間

○対象公園

表 1-1 本計画の対象公園

公園種別	公園数	公園名（抜粋）
近隣公園	5	駅前公園、南行徳公園、大洲防災公園等
地区公園	3	里見公園、広尾防災公園、小塚山公園
街区公園	40	ひいらぎ公園、やなぎ公園、鬼越公園等
歴史公園	1	姥山貝塚公園
都市緑地	3	じゅん菜池緑地、曾谷緑地等
合計	52	-

○計画期間

10年間（2020(R2)年度～2029(R11)年度）

* 過年度計画では、2020(R2)～2029(R11)年度の計画期間で公園施設長寿命化計画を策定している。過年度計画から5年目となったため、本計画では計画対象公園の見直しを行い、長寿命化計画の改定を行います。

* 原則5年ごとに見直しを行う予定です。

○対象公園位置図

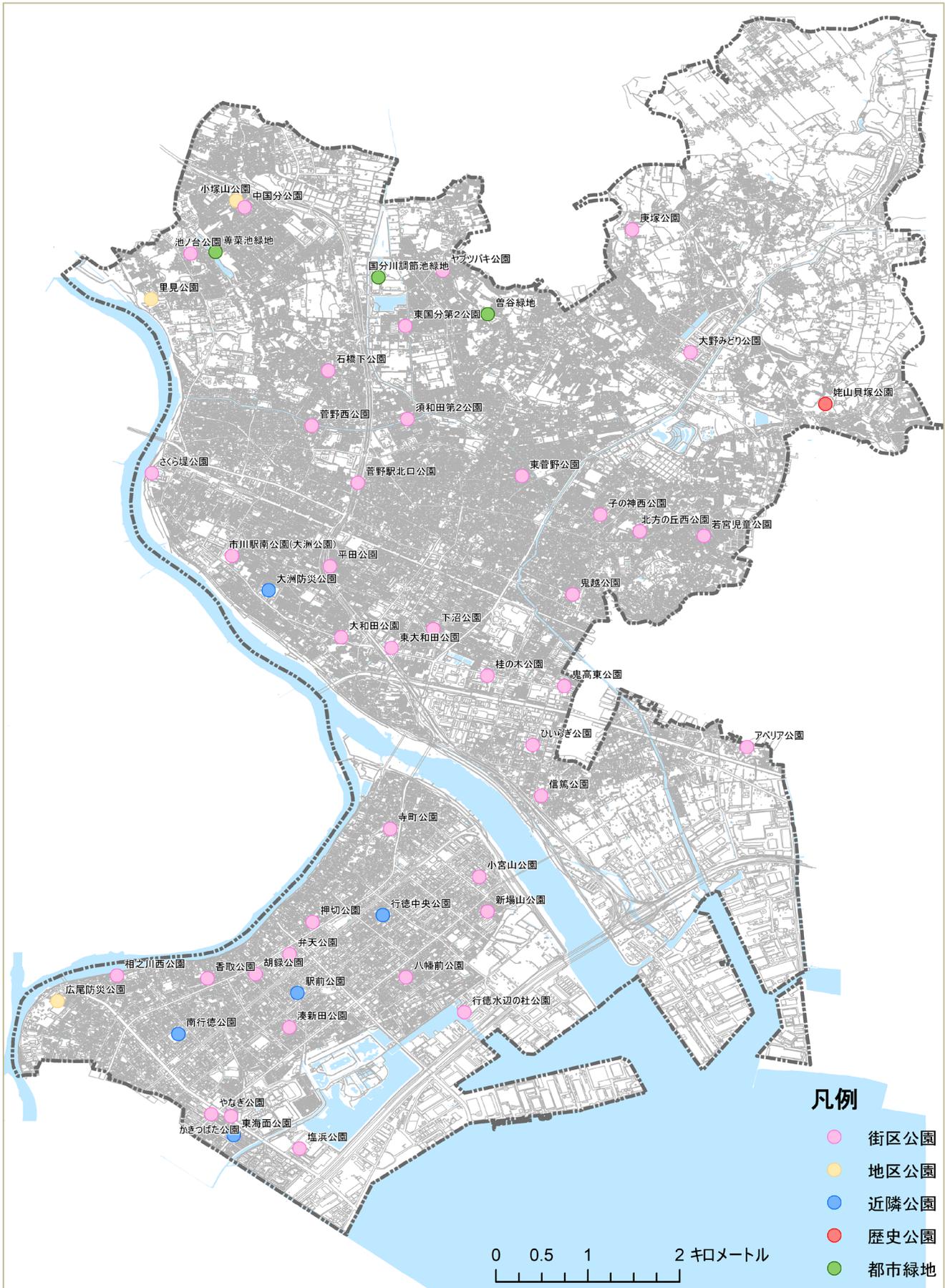


図 1-2 対象公園の位置図

1-3 長寿命化計画策定のフロー

長寿命化計画策定フローは以下の通りとなります。なお、H30指針(案)において、「事後保全型管理を行う公園施設」は、健全度と緊急度判定の対象公園施設に含まれていませんが、対象公園全体の劣化や損傷の状況を把握することを目的として、「事後保全型管理を行う公園施設」についても健全度と緊急度判定を行いました。

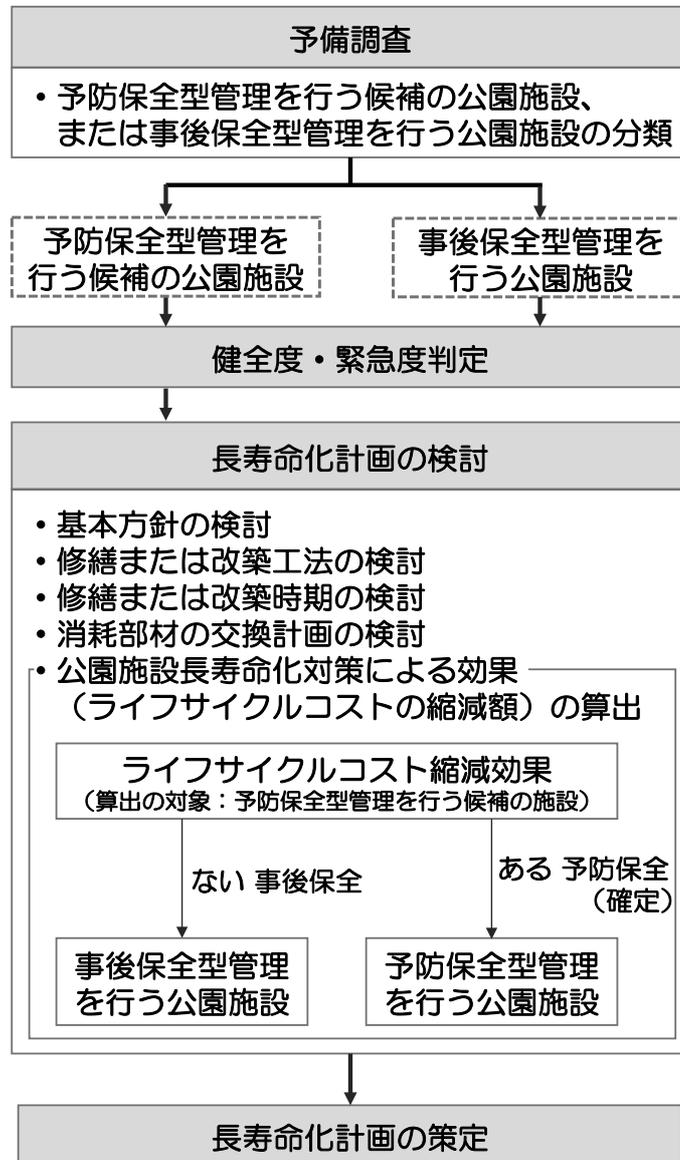


図 1-3 長寿命化計画策定の流れ

表 1-2 長寿命化計画策定における各管理類型の公園施設の実施内容

管理類型	実施内容
予防保全型管理を行う候補の施設	<ul style="list-style-type: none"> 予備調査 健全度及び緊急度判定 修繕または改築工法の検討 修繕または改築時期の検討 消耗部材の交換計画の検討 公園施設の長寿命化対策による効果（ライフサイクルコストの縮減額）の算出
事後保全型管理を行う施設	<ul style="list-style-type: none"> 予備調査 健全度及び緊急度判定 修繕または改築工法の検討 修繕または改築時期の検討 消耗部材の交換計画の検討

2. 予備調査

2-1 計画対象施設の整理

本計画の見直しにおいて、過年度計画策定時に実施した予備調査、健全度調査、2023(R5)年度と2024(R6)年度に実施した遊器具点検及び過年度の維持管理履歴を用いて、公園ごとの施設の整理を行った結果、対象施設は以下の通りとなりました。

表 2-1 本計画の対象施設数

公園施設種別	対象施設数
園路広場	155
修景施設	57
休養施設	340
運動施設	26
教養施設	20
遊戯施設	333
便益施設	77
管理施設	1,118
合計	2,126

2-2 管理類型

H30指針(案)より、公園施設の管理類型を「予防保全型管理」と「事後保全型管理」に分類します。

■ 予防保全型管理

公園施設の機能保全に支障となる劣化・損傷を未然に防止するために、公園施設の日常的な維持保全（清掃、保守、修繕など）に加え、日常点検、定期点検の場を活用した定期的な健全度調査を行うとともに、施設毎に必要な計画的な補修、更新を行う。

■ 事後保全型管理

維持保全（清掃、保守、修繕など）や日常点検、定期点検を実施し、劣化や損傷、異常、故障が確認され、求められる機能が確保できないと判断された時点で、撤去、更新を行うものである。

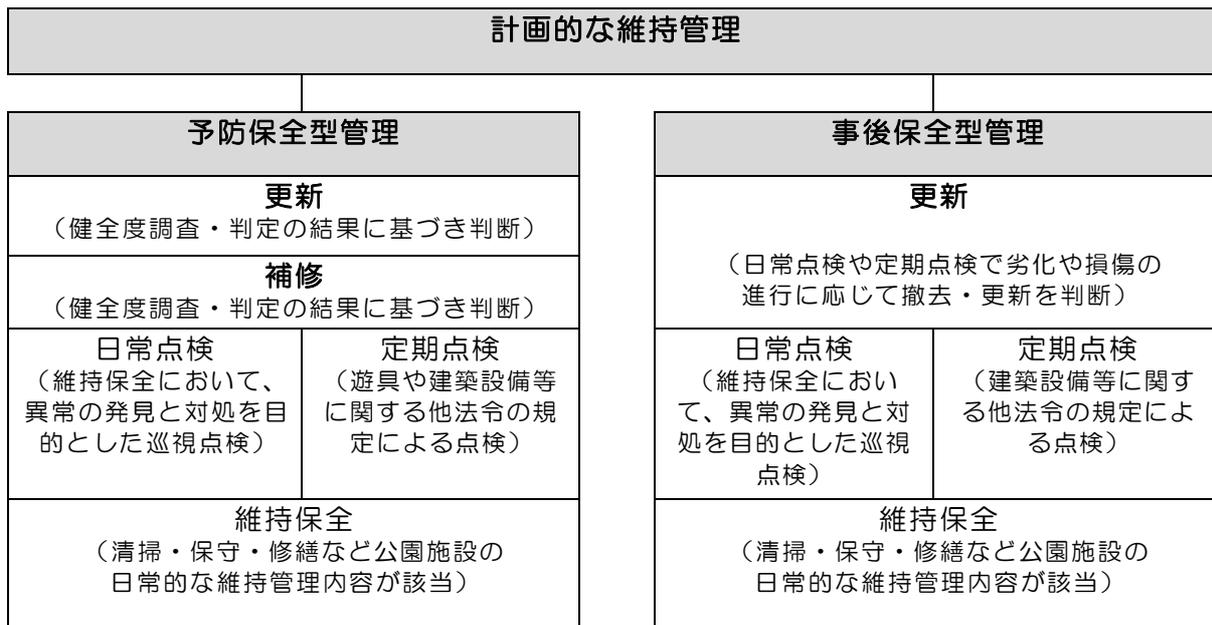


図 2-1 予防保全型管理と事後保全型管理の概念図¹

○公園施設ごとの管理類型

予備調査時の公園施設ごとの概ねの管理類型は、次ページの表の通りです。

H30指針(案)に基づき、予防保全型管理を行う候補の施設と、事後保全型管理を行う施設に分類しました。

遊具については、安全確保に必要となる措置を最優先とした予防保全型管理を行うものとします。また、定期的な修繕・補修を行うことが前提である建築物・工作物についても、予防保全型管理を行うものとします。

¹ 「公園施設長寿命化計画策定指針(案)【改訂版】 国土交通省都市局公園緑地・景観課 令和7年3月 p.9」より抜粋

表 2-2 予防保全型管理を行う候補の施設

公園施設種別	主な公園施設
運動施設	ダッグアウト、観覧席
園路広場	公園橋、つり橋、デッキ
管理施設	管理事務所、照明灯、引込柱（高価なもの）、擁壁（高さ2m以上）
休養施設	四阿（10m ² 以上）
教養施設	史跡（建築物）
修景施設	噴水、パーゴラ（10m ² 以上）
便益施設	トイレ躯体
遊戯施設	遊戯施設全般

※上記の公園施設は、ライフサイクルコスト算出結果により、予防保全型管理又は事後保全型管理の判断が必要となる施設です。なお、H30指針(案)に基づき、長寿命化対策をすることが前提である管理事務所、史跡（建築物）、トイレ躯体及び遊戯施設全般については、ライフサイクルコストの算出を行いません。

表 2-3 事後保全型管理を行う候補の施設

公園施設種別	主な公園施設
運動施設	スコアボード、バスケットゴール、バックネット、運動用具倉庫、掲揚塔、多目的広場、防球ネット
園路広場	アスファルト舗装、インターロッキング舗装、ゴムチップ舗装、コンクリート舗装、ブロック舗装、砕石舗装、小舗石舗装、石舗装、平板舗装、階段、斜路
管理施設	ガーデンライト、サイン、フェンス、ポンプ設備、井戸非常電源装置、引込柱（安価なもの）、灰皿、機械室、詰所、柵、車止め、手摺り、制御盤、倉庫、貯水槽、発電設備、分電盤、塀、防災用井戸、防犯カメラ、門柱、門扉、擁壁（高さ2m未満）
休養施設	スツール、ベンチ、縁台、野外卓
教養施設	記念碑、史跡、石碑
修景施設	トレリス、ビオトープ、モニュメント、灯籠、流れ
便益施設	カーポート、時計塔、水飲み、洗い場、駐車場、駐車場ゲート、駐輪場
遊戯施設	—

3.健全度・緊急度判定

3-1 健全度判定

健全度判定は、過年度計画及び既往の評価結果（遊器具点検）の情報をもとに、公園施設ごとの劣化や損傷の状況や安全性などを確認し、公園施設の補修、もしくは更新の必要性について、総合的な判定を行い、健全度の総合的な判定は、「A・B・C・D」の四段階評価を標準としました。

表 3-1 健全度評価における評価基準²

ランク	評価基準
A	<ul style="list-style-type: none"> • 全体的に健全である。 • 緊急の補修の必要はないため、日常の維持保全で管理するもの。
B	<ul style="list-style-type: none"> • 全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。 • 緊急の補修の必要性はないが、維持保全での管理の中で、劣化部分について定期的な観察が必要なもの。
C	<ul style="list-style-type: none"> • 全体的に劣化が進行している。 • 現時点では重大な事故につながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、もしくは更新が必要なもの。
D	<ul style="list-style-type: none"> • 全体的に顕著な劣化である。 • 重大な事故につながる恐れがあり、公園施設の利用禁止あるいは、緊急な補修、もしくは更新が必要とされるもの。

3-2 緊急度判定

緊急度判定は、H30指針(案)に基づき、健全度判定結果より、施設の補修もしくは更新に対する緊急度（高・中・低）を判定しました。なお、本計画では健全度判定がC評価である施設の緊急度判定については、「考慮すべき事項（指標）」を設定しました。

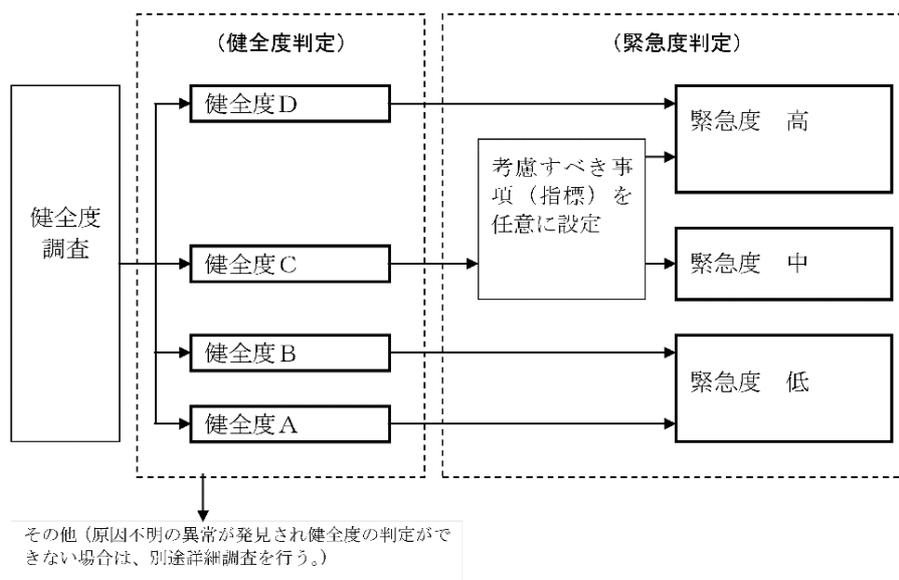


図 3-1 緊急度の設定方法³

² 「公園施設長寿命化計画策定指針（案）【改訂版】 国土交通省都市局公園緑地・景観課 令和7年3月 p.33」より抜粋

³ 「公園施設長寿命化計画策定指針（案）【改訂版】 国土交通省都市局公園緑地・景観課 令和7年3月 p.35」より抜粋

表 3-2 緊急度判定の目安⁴

緊急度	判定の目安
高	<ul style="list-style-type: none"> 健全度判定がDの施設 健全度判定がCの施設のうち、任意に設定した考慮すべき事項（指標）に照らして、優先して補修、もしくは更新を行うこととする公園施設
中	<ul style="list-style-type: none"> 健全度判定がCの施設のうち、優先して補修、もしくは更新を行わない公園施設
低	<ul style="list-style-type: none"> 健全度判定がA又はBの公園施設

○考慮すべき事項（指標）の設定

健全度判定でC評価となった施設のうち、遊戯施設については、「処分制限期間9割以上超過している遊戯施設」を考慮すべき事項として設定しました。

<考慮すべき事項の設定理由>

- ・必要性、安全性の観点から「遊戯施設」を対象としました。
- ・処分制限期間9割以上超過している健全度Cの遊戯施設を対象としました。

緊急度は健全度判定での総合評価や点検表を参考に「低」「中」「高」の考え方を以下のように設定します。

- ・緊急度「高」：計画初年度に対策を行う施設（D判定施設）
- ・緊急度「中」：計画期間内に対策を行う施設（C判定施設）
- ・緊急度「低」：現時点では早急な対策が必要のない施設（A・B判定施設）

⁴ 「公園施設長寿命化計画策定指針（案）【改訂版】 国土交通省都市局公園緑地・景観課 令和7年3月 p.36」より抜粋

3-3 健全度・緊急度判定結果

○健全度判定結果

全体では健全度C・Dが約20%を占める結果となりました。予防保全型管理施設（主に遊戯施設）については、本計画における長寿命化計画の対象公園が、老朽化した遊戯施設の多い公園を対象としているため、健全度C・Dが約40%を占める結果となりました。

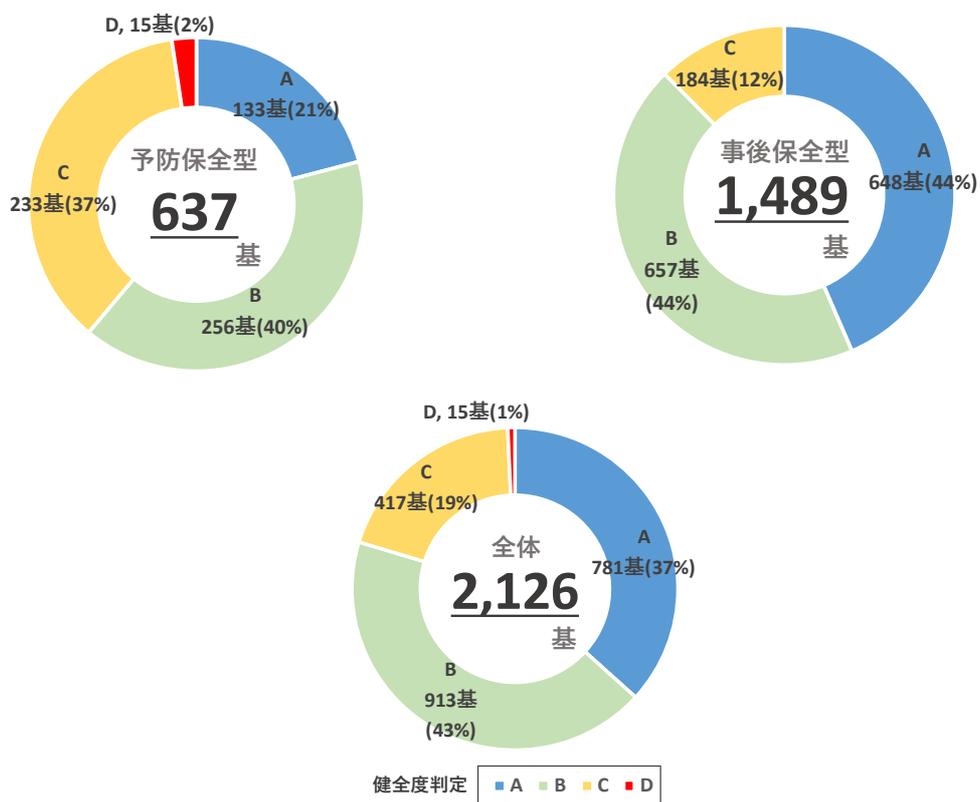


図 3-2 健全度判定の結果

○緊急度判定結果

全体では、緊急度高が約10%を占める結果となりました。予防保全型管理施設については、健全度Cの遊戯施設が、2024（R6）年時点で処分制限期間を9割以上超過する施設が多いことから、緊急度高が約30%を占める結果となりました。事後保全型施設（主に一般施設）については、緊急度低が約90%を占める結果となりました。

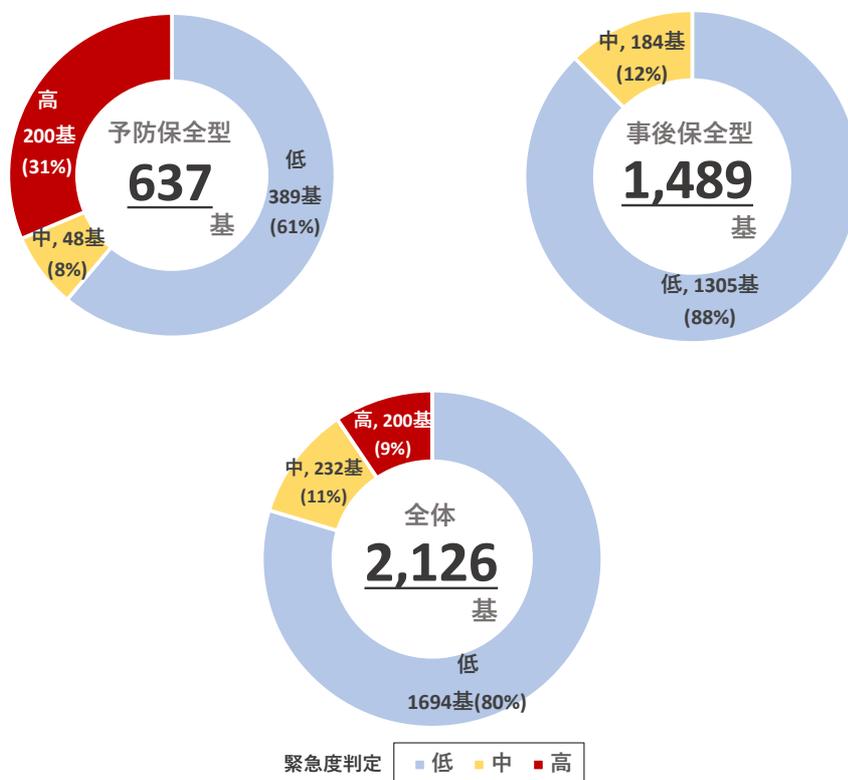


図 3-3 緊急度判定の結果

4.長寿命化計画の検討

4-1 公園施設長寿命化計画のための基本方針の設定

○予防保全型施設の方針

- ・5年に1回を標準として健全度調査を実施し、施設の劣化損傷状態を確認します。
- ・遊具は年1回実施する定期点検で施設の劣化及び損傷を把握し、消耗材の交換等を行うほか、必要に応じて施設の補修等を行います。
- ・可能な限り、健全度がC判定になる前に計画的な修繕や塗装、部材交換等の適切な長寿命化対策を実施し、施設の長寿命化を図ります。

○事後保全型施設の方針

- ・維持保全（清掃・保守・修繕）、日常点検等を原則とし、公園施設の機能の保全と安全性を維持します。
- ・日常の維持保全等により施設の劣化や損傷を把握するとともに、著しい劣化や損傷（継続利用が困難）を把握した場合、施設の更新を行います。

4-2 ライフサイクルコストの検討

ライフサイクルコストの算定は、予防保全型管理候補に分類した施設を対象に、公園施設ごとに、「長寿命化対策を実施した場合」の総費用（維持保全費、撤去更新費、補修費、健全度調査費）と「長寿命化対策を実施しない場合」の総費用（維持保全費、撤去更新費）を算出します。

ライフサイクルコスト（LCC）の縮減は、予防保全型管理候補に分類した施設について、長寿命化対策を実施した場合と実施しない場合の差額で判断します。

なお、H30指針（案）では、遊具、定期的な修繕・補修を行うことが前提である建築物・工作物等、植栽に関しては、長寿命化対策をしない場合と長寿命化対策する場合とを比較する必要がないとされています。そのため、遊具および建築物に関しては、H30指針（案）に示されているとおり、ライフサイクルコストの縮減額の算出は対象外としました。

○更新見込み年度の設定

本計画の対象公園は設置年が古く、使用見込み期間を過ぎて使用しているものも多く存在します。使用見込み期間を経過した施設については、計画の初年度に更新費用が集中してしまうことが想定されます。

しかし、設置環境や維持管理により健全度が良好な施設もあるため、更新時期については健全度判定結果に基づき、更新時期を以下のルールに基づいて設定しました。

表 4-1 更新時期の設定

緊急度	健全度	管理類型	使用見込み期間	更新年度
緊急度高	健全度 D 健全度 C ^{*1}	事後保全	超過	計画 6・7 年目 (2025(R7)・2026(R8) 年度)
			未超過	
		予防保全	超過	
			未超過	
緊急度中	健全度 C ^{*2}	事後保全	超過 ^{*3}	計画 7・8 年目 (2026(R8)・2027(R9) 年度)
			未超過	
		予防保全	超過 ^{*3}	
			未超過	
緊急度低	健全度 B	事後保全	超過	計画 9・10 年目 (2028(R10)・2029(R11) 年度)
			未超過	使用見込み年度
		予防保全	超過	計画 9・10 年目 (2028(R10)・2029(R11) 年度)
			未超過	使用見込み年度
	健全度 A	事後保全	超過	計画 11 年目(2030(R12) 年度)
			未超過	使用見込み年度
		予防保全	超過	計画 11 年目(2030(R12) 年度)
			未超過	使用見込み年度

※1：考慮すべき事項（処分制限期間9割以上超過している遊戯施設）に該当する施設

※2：考慮すべき事項（処分制限期間9割以上超過している遊戯施設）に該当しない施設

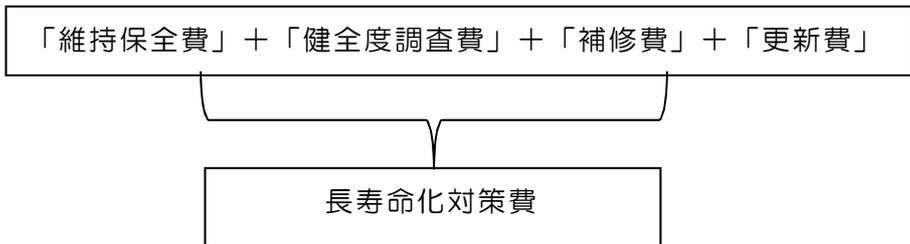
※3：※2の施設において、使用見込み期間を超過している施設に該当する施設はありません。

○ライフサイクルコスト算出

- ・長寿命化対策をしない場合の総費用は、使用見込み期間内の、

$$\text{「維持保全費」} + \text{「更新費」}$$

- ・長寿命化対策をした場合の総費用は、使用見込み期間内の、



○単年度あたりのライフサイクルコストの算出

- ・長寿命化対策をしない場合の単年度あたりのライフサイクルコスト

$$\frac{\text{「長寿命化対策をしない場合の総費用」}}{\text{「長寿命化対策をしない場合の使用見込み期間」}}$$

- ・長寿命化対策をした場合の単年度あたりのライフサイクルコスト

$$\frac{\text{「長寿命化対策をした場合の総費用」}}{\text{「長寿命化対策をした場合の使用見込み期間」}}$$

○単年度あたりのライフサイクルコストの縮減額の算出

- ・単年度あたりのライフサイクルコストの縮減額

$$\text{「長寿命化対策をした場合の単年度あたりのライフサイクルコスト」} \\ - \text{「長寿命化対策をしない場合の単年度あたりのライフサイクルコスト」}$$

○使用見込み期間の設定例と更新見込み年度の概念図

表 4-2 使用見込み期間の設定例⁵

処分制限期間(年)	使用見込み期間(年)	
	事後保全型管理	予防保全型管理
7	14	17
8	16	19
9	18	22
10	20	24
11	22	26
12	24	29
13	26	31
14	28	34
15	30	36
16	30	36
17	30	36
18	30	36
19	30	36
20	30	36
21	32	38
22	33	40
23	35	41
24	36	43
25	38	45
26	39	47
27	40	48
28	40	48
29	40	48
30	40	48
31	40	48
32	40	48
33	40	48
34	40	48
35	40	48
36	40	48
37	40	48
38	40	48
39	40	48
40	40	48
41	41	49
42	42	50
43	43	52
44	44	53
45	45	54
46	46	55
47	47	56
48	48	58
49	49	59
50	50	60
51	51	61
52	52	62
53	53	64
54	54	65
55	55	66
56	56	67
57	57	68
58	58	70
59	59	71
60	60	72

⁵ 「公園施設長寿命化計画策定指針(案)【改訂版】 国土交通省都市局公園緑地・景観課 令和7年3月 p.49」より抜粋

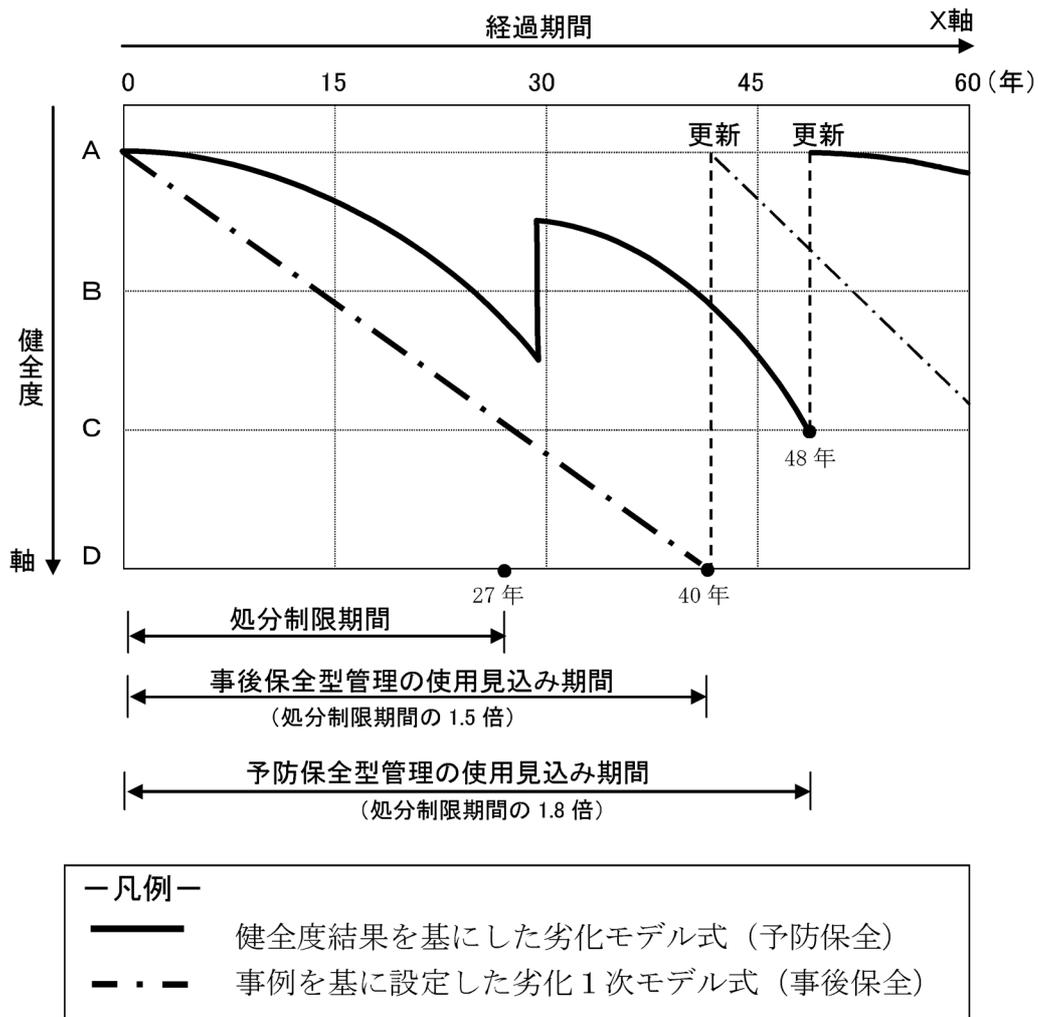


図 4-1 更新見込み年度の概念図⁶

⁶ 「公園施設長寿命化計画策定指針(案)【改訂版】 国土交通省都市局公園緑地・景観課 令和7年3月 p.48」より抜粋

○ライフサイクルコスト算出根拠例

表 4-3 ライフサイクルコストの算出根拠（例）

公園施設のライフサイクルコストの算出根拠シート

公園施設ライフサイクルコスト算出根拠														
公園No	13-002			設置年度	1971			年						
公園名	南行徳公園			経過年	53			年						
公園施設種類	管理施設			処分制限期間	18			年						
施設コード	13-002-814-2			更新見込み年度	2028			年						
公園施設名	照明灯			健全度・緊急度	B			・			低			
数量・面積	1基			計画期間	10			年						
主要部材	スチール			概算費用(千円・算出期間)	4,325			千円						
部要素別の具体的な長寿命対策	構造物(予防保全)			消耗材			予防保全の交換・修繕サイクル			予防保全の対策費(千円/数量)				
本体	塗替			-			9年			41				
本体	部分修繕①			-			-			0				
本体	部分修繕②			-			-			0				
							年							
算出パターン	パターン②													
長寿命対策しない場合(事後保全)	使用見込み期間	30年		長寿命対策した場合(予防保全)	使用見込み期間	36年								
	更新見込年度①	2028年			更新見込年度	2028年								
	更新見込年度②※1	2058年			更新見込年度②※1	2064年								
長寿命対策しない場合(事後保全)の概算費用														
年度	1971	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2025	2035	評価期間費用計(千円)
費用(千円)	計											計	計	
維持保全費	0	0	0	0	51	51	51	51	51	51	51	357	1,224	1,581
補修費	0													0
更新費	0	0	0	0	1,112	0	0	0	0	0	0	1,112	1,112	2,224
費用計	0	0	0	0	1,163	51	51	51	51	51	51	1,469	2,336	3,805
長寿命対策した場合(予防保全)の概算費用														
年度	1971	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2025	2035	評価期間費用計(千円)
費用(千円)	計											計	計	
維持保全費	0	0	0	0	51	51	51	51	51	51	51	357	1,530	1,887
健全度調査費※4	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	13	26	91
補修費※5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	123	123
更新費	0	0	0	0	1,112	0	0	0	0	0	0	1,112	1,112	2,224
費用計※6	0	0	0	0	1,163	64	51	51	51	51	51	1,495	2,830	4,325
縮減効果	長寿命化対策しない場合(事後保全)			長寿命対策した場合(予防保全)			縮減効果							
使用見込み期間(年)※2	30			36			/							
維持保全費・健全度調査費(千円)	1,581			1,978			/							
補修・更新費(千円)	2,224			2,347			/							
ライフサイクルコスト(千円)	3,805			4,325			/							
単年度ライフサイクルコスト(千円/年)	127			120			7							

※1：パターン②のみ、更新1回目～更新2回目の期間をライフサイクルコストを算出した。
 ※2：パターン③の事後保全型のみ、使用見込み期間に1回目更新までの期間を足した値である。
 ※3：ライフサイクルコストの算出期間に、2035年度以降の期間を含む場合は、当該期間を記載の上、合計費用を記載。含まない場合は0円となる。
 ※4：健全度調査については、5年に1度実施するため、健全度調査費は5年に1度の計上となる。
 ※5：補修費については、更新年度を基準とし補修周期(予防保全の交換・修繕サイクル)を踏まえた年度に計上しているため、計画期間内に補修費が計上されていないケースがある。
 ※6：表記されている費用計について、百円単位を切り上げて表記しているため、各年度の費用計と表記されている費用計が異なる場合がある。

長寿命化対策をする場合としない場合で、単年度のライフサイクルコストを比較

縮減効果がない場合は、マイナス表記で記載される。

5.長寿命化計画の策定

5-1 管理類型の区分

LCC（ライフサイクルコスト）の算定も含めて、予防保全型管理施設、事後保全型管理施設の分類を以下のとおり行いました。

表 5-1 本計画の予防保全型管理施設

公園施設種別	主な公園施設
運動施設	ダッグアウト
園路広場	公園橋、つり橋、デッキ
管理施設	管理事務所、照明灯、引込柱（高価なもの）
休養施設	四阿（10m ² 以上）
教養施設	史跡（建築物）
修景施設	噴水、パーゴラ（10m ² 以上）
便益施設	トイレ躯体
遊戯施設	遊戯施設全般

※予防保全型管理を行う候補の施設について、ライフサイクルコストを算出し、予防保全型管理施設又は事後保全型管理施設の判断を行ったため、上記の公園施設のうち、公園橋、パーゴラ及び照明灯については、事後保全型管理施設となる施設がありました。

表 5-2 本計画の事後保全型管理施設

公園施設種別	主な公園施設
運動施設	観覧席、スコアボード、バスケットゴール、バックネット、運動用具倉庫、掲揚塔、多目的広場、防球ネット
園路広場	公園橋、アスファルト舗装、インターロッキング舗装、ゴムチップ舗装、コンクリート舗装、ブロック舗装、碎石舗装、小舗石舗装、石舗装、平板舗装、階段、斜路
管理施設	照明灯、ガーデンライト、サイン、フェンス、ポンプ設備、井戸非常電源装置、引込柱（安価なもの）、灰皿、機械室、詰所、柵、車止め、手摺り、制御盤、倉庫、貯水槽、発電設備、分電盤、塀、防災用井戸、防犯カメラ、門柱、門扉、擁壁
休養施設	スツール、ベンチ、縁台、野外卓
教養施設	記念碑、史跡、石碑
修景施設	パーゴラ（10m ² 以上）、トレリス、ピオトープ、モニュメント、灯籠、流れ
便益施設	カーポート、時計塔、水飲み、洗い場、駐車場、駐車場ゲート、駐輪場
遊戯施設	—

5-2 平準化における優先順位の考え方

【平準化の手順】

- ①緊急度判定及び健全度判定に基づき、緊急度が高い施設の対策を最優先とし更新を行います。
- ②同一の緊急度・健全度を持つ施設同士の優先度としては、公園の利用度や公園機能としての役割の大きい公園から優先的に更新を行います（重要度評価）。

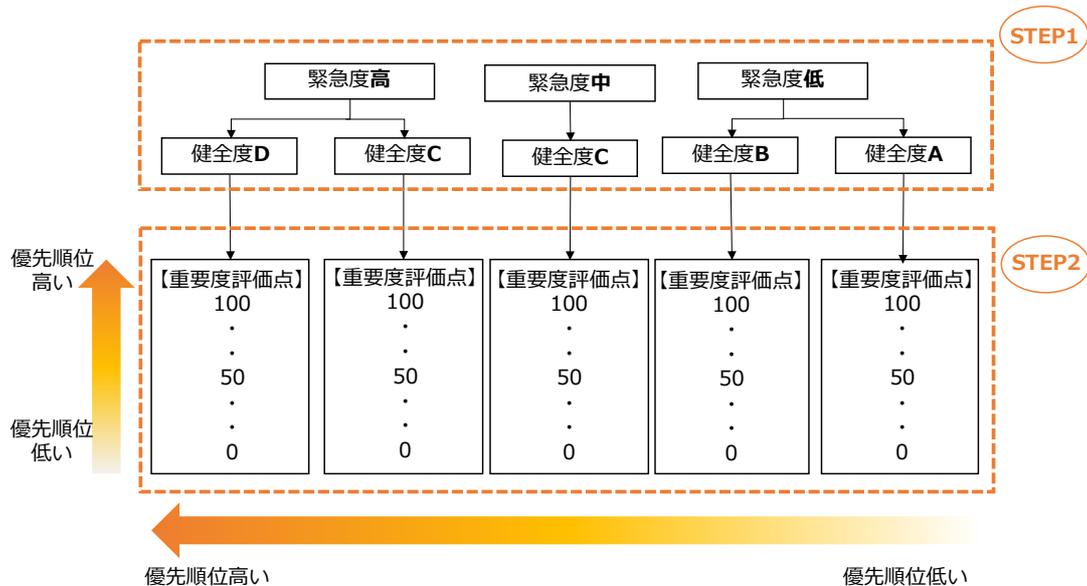


図 5-1 優先順位設定のフロー

重要度評価については、「公園の要望件数（利用者のニーズ）」、「公園の規模」及び「防災機能」の3つの視点を基に、公園ごとに重要度評価点を設定しました。

5-3 年次計画の設定

本計画期間(2020(R2)~2029(R11)年)の年次計画を以下に示します。

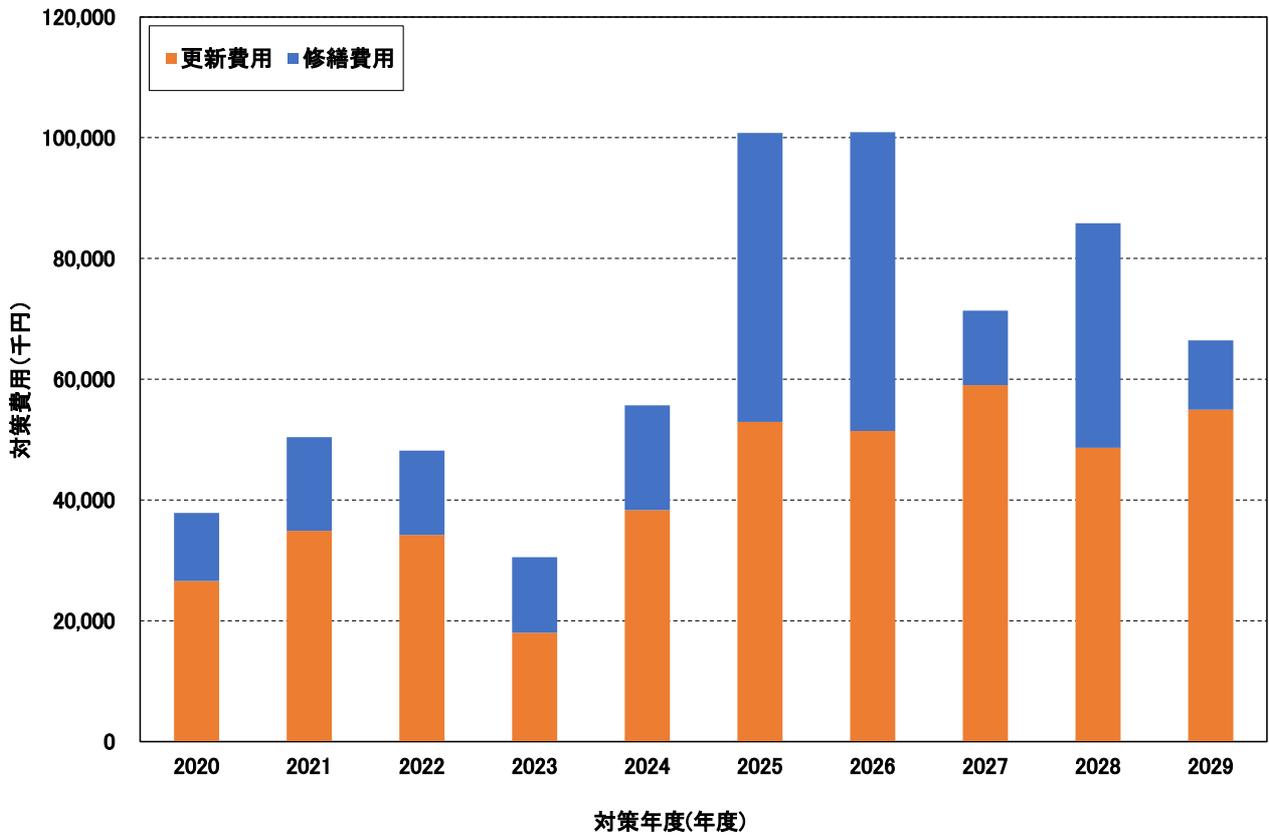


図 5-2 年次計画 (長寿命化計画)

※2020(R2)年度~2024(R6)年度は補修・更新実績を示しています。

※更新費用の平準化により、2030年度以降に更新を予定している緊急度高の施設については、2025年度または2026年度に修繕費用を計上しています。また、緊急度中・低の施設については、今後の点検結果等を踏まえ、修繕の実施の判断を行います。

○年度ごとの事業費一覧

平準化を行った後、年次別の事業計画を立てた結果、2025年度～2029年度に必要となる総事業費は、425,349千円となりました。

表 5-3 年次計画（単位：千円）

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	合計
更新費	26,586	34,914	34,206	18,040	38,317	52,953	51,458	59,032	48,670	54,955	419,131
修繕費	11,263	15,475	13,996	12,474	17,381	47,832	49,453	12,339	37,183	11,474	228,870
計	37,849	50,389	48,202	30,514	55,698	100,785	100,911	71,371	85,853	66,429	年次合計 648,001

なお、長寿命化対策を行う場合、単年度あたりのライフサイクルコスト（LCC）は約4,420千円の縮減可能となります。また、公園ごとに長寿命化を実施する施設は、下表のとおりです。なお、以下の公園以外の公園については、遊戯施設のみを対象としており、遊戯施設はライフサイクルコスト算出の対象外の公園施設であるため、記載していません。

表 5-4 年次整備計画（単位：千円）

公園名	種別	長寿命化を実施する公園施設	長寿命化対象公園施設数	単年度あたりのライフサイクルコスト縮減額（千円）
南行徳公園	近隣公園	遊戯施設、ダッグアウト、トイレ躯体、パーゴラ、四阿、照明灯、噴水	79	199
駅前公園	近隣公園	遊戯施設、トイレ躯体、パーゴラ、引込柱、管理事務所、四阿、照明灯、噴水	30	247
大洲防災公園	近隣公園	遊戯施設、デッキ、トイレ躯体、パーゴラ、管理事務所、四阿、照明灯	71	571
里見公園	地区公園	遊戯施設、つり橋、トイレ躯体、パーゴラ、管理事務所、公園橋、四阿、照明灯、噴水	56	1730
小塚山公園	地区公園	遊戯施設、トイレ躯体、引込柱、管理事務所、四阿、照明灯	23	60
広尾防災公園	地区公園	遊戯施設、トイレ躯体、パーゴラ、管理事務所、四阿、照明灯	51	150
姥山貝塚公園	歴史公園	トイレ躯体、パーゴラ、管理事務所、四阿、照明灯	10	128
尊菜池緑地	都市緑地	遊戯施設、トイレ躯体、パーゴラ、管理事務所、公園橋、四阿、噴水	69	1335
			合計	4,420